

2021  
10月

# 情報図書館だより

通巻378号 江別市情報図書館：江別市野幌末広町7番地

江別市情報図書館

江別市情報図書館

ホームページ

Facebook



http://www.lib.city.  
ebetsu.hokkaido.jp/

読書の秋！ 芸術の秋！

## アートな本展

日時 10月23日(土)～31日(日)

10:00～17:00

場所 情報図書館本館 2階デモ展示室

読書の秋です、芸術の秋です、アートを感じる本を集めました。  
展示会場の本は貸出できます。下記の特別イベントも開催しますのでぜひお越しください。

### ◆ぬりえチャレンジ！

ほんたのぬりえを配布中です。作品は会場に展示します。展示希望の方は、色をぬって10月15日(金)までに貸出カウンターへお持ちください。



市内小中学生が作成したおすすめ本の「POP」も展示します。



### ◆スマホで本の予約をしてみよう

スマートフォンから本の予約等ができます。操作に不安のある方はぜひご参加ください。

10月23日(土) 13:30～14:30

申込/10月8日(金)～ 先着10名

電話か直接カウンターへ

会場/2階ビデオ視聴室

### ◆大人のおはなし会

事前申込は不要ですので直接会場へどうぞ。  
※参加者多数の場合、制限させていただくことがあります。

10月31日(日) 13:30～14:30

会場/2階ビデオ視聴室

出演/語り・ひとり芝居ぐるうぶ うるうる亭  
シアターとんとん

## 新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いいたします

～ ご来館の皆さまへ ～

- 以下に該当する方はご利用をお控えくださいますようお願いいたします。
  - ・発熱や咳、のどの痛みなどがあり、体調がすぐれない方
  - ・身近に新型コロナウイルス感染症の感染者もしくは感染の可能性のある方がいらっしゃる方
- マスク着用のうえ、ご入館ください。
- 入館時、資料に触れる前後の手洗い・手指消毒等、感染防止に努めてください。
- 咳エチケット、手洗いの励行にご協力ください。
- 他の利用者との距離をとり、滞在は短時間としてください。
- 感染拡大防止のため、入館記録を取らせていただきます。



江別市情報図書館  
Facebook



右上のQRコードを  
読み込んでGO!

フォローはお済みですか？ イベント詳細  
や耳より情報を発信しています！

10月の 月曜日  
休館日

4日 11日 18日 25日



図書整理日

第4金曜日 22日

開館時間

- 本館
  - 【火・土曜日】 10:00～19:00
  - 【水・木曜日】 10:00～21:00
  - 【金・日曜日】 10:00～17:00
- 江別分館・大麻分館
  - 【火～日曜日】 10:00～17:00

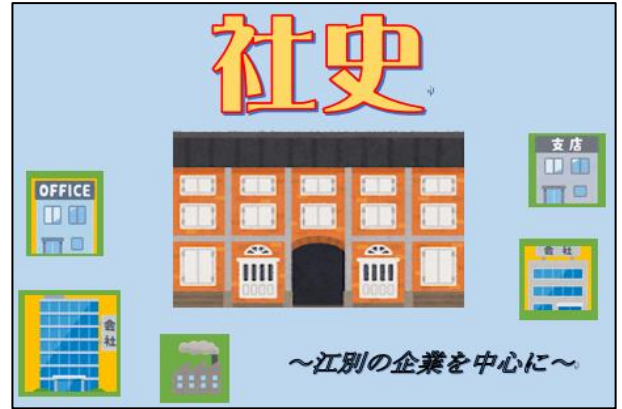
- 本館・ぷらっと窓口 384-0202
  - 江別分館 385-1372
  - 大麻分館 387-1634
  - 豊幌小学校 383-4486
  - 江別太小学校 382-2600
- ぷらっと窓口、豊幌小学校図書館、江別太小学校図書館の閉館曜日、開館時間はお問い合わせください。

◆一般特集コーナー

ドストエフスキー  
没後200年



◆エントランス展示



◆児童特集コーナー

のりもの



◆不要雑誌の無料提供

10月の更新日 **23**日(土)

●初心者パソコン教室

パソコン教室を2コース開催します。以前受講された方も応募できますが、希望者多数の場合は初めて受講される方を優先します。



◇使用機器 情報図書館設置のパソコン（Windows10搭載）

※個人所有のパソコンは持ち込みできません。

◇内 容 パソコンの基本操作、文書作成、表計算、インターネットの入門、電子メールの送受信など。初めてパソコンに触れる方でも受講できます。※個人所有のパソコンの操作方法など、講義の内容以外の個別の質問はお答えできません。

日 時	日 程	コース	時 間
	11月9日(火)、10日(水)、11日(木)、 16日(火)、17日(水)、18日(木)	午前	10時15分～12時15分
		午後	13時30分～15時30分

◇対 象 受講日程6日間のすべてに参加できる、江別市在住または在勤の20歳以上の方。

◇定 員 各コース8名。

◇受 講 料 二千元（教材費含む）。講習初日にお持ちください。

◇申 込 10月8日（金）～12日（火）休館日を除く各日、10時～閉館時間までに電話か直接本館へ。

希望者多数の場合は職員による公開抽選を行います。

抽選は10月15日（金）11時～ビデオ視聴室で行い、当選者のみ抽選日から1週間程度で郵送によりご連絡します。

●EPOC講習会

エポック（江別パソコン利用研究会）の会員を講師に迎えて行います。

◇日 時 11月14日（日）13時～16時

◇内 容 ワードで年賀状作り  
ネットからフリー画像でもっと素敵に！ ※当日USBメモリを持ってきてください。

◇対 象 日本語入力、マウス操作できる方

◇定 員 8名

◇申 込 10月6日（水）～7日（木）10時～閉館時間までに電話か直接本館へ。

希望者多数の場合は職員による公開抽選を行います。

抽選は10月15日（金）11時～ビデオ視聴室で行い、当選者のみ抽選日から1週間程度で郵送によりご連絡します。



# 新着図書案内

【一般書】

※最近買った本の一部です

分野	書名	著者名
情報	良いデジタル化悪いデジタル化	野口 悠紀雄
	オンラインコミュニケーション講座	山崎 紅
心理	情報を正しく選択するための認知バイアス事典	情報文化研究所
歴史	沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う	山船 晃太郎
	禍いの大衆文化	小松 和彦／編
	縄文里山づくり	御所野縄文博物館／編
伝記	カマラ・ハリスの流儀	ダン・モレイン
旅行	お一人さま逃亡温泉	加藤 亜由子
社会	ミャンマー政変	北川 成史
	霞が関のリアル	NHK取材班
	同調圧力の正体	太田 肇
民俗	北前船が運んだ民謡文化	三隅 治雄
統計	「誤差」「大間違い」「ウソ」を見分ける統計学	デイヴィッド・サルツブルグ
生物	どっちがどっちまぎらわしい生きものたち	梁井 貴史
	小説みたいに楽しく読める生命科学講義	石浦 章一
健康医学	70歳からのゆるーい筋トレ&ストレッチ	山口 晃二
	こむら返り	出沢 明
建築	国立競技場Construction	共同通信社
美容	ukaが教える大人のハンド&ネイルケア	渡邊 季穂
手芸	こころのままに季節を楽しむ紙刺しゅう	Piro

分野	書名	著者名
料理	まるごとレモン	河井 美歩
	やせる高たんぱくレシピ100	工藤 孝文／医学監修
	簡単にはじめる手作り燻製	燻製道士
育児	男も育休って、あり？	羽田 共一
園芸	観て楽しい育てて美味しい野菜の再生栽培	大橋 明子
鉄道	夕張線	奥山 道紀
登山	科学が教える山歩き超入門	能勢 博／監修
将棋	イメージと読みの将棋観ファイナル	藤井 聡太
エッセイ	今日でなくてもいい	佐野 洋子
	作家は時代の神経である	高村 薫
	九十八歳。戦いやまず日は暮れず	佐藤 愛子
小説	明日は結婚式	小路 幸也
	たまごの旅人	近藤 史恵
	遅番にやらせとけ	キタハラ
	ゴースト・ポリス・ストーリー	横関 大
	逆玉に明日はない	楡 周平
	ミヨンへ	キム ソヨン
	ポドキン家の強運	P.G.ウッドハウス
	身内のよんどころない事情により	ペーター・テリン
	地上で僕らはつかの間きらめく	オーシャン・ヴオン

## この本がおすすめ！

### 『アーバン・ベア となりのヒグマと向き合う』

佐藤 喜和／著（東京大学出版会）

令和元年、野幌森林公園のヒグマ出没は江別市民にとって衝撃的な出来事でした。著者は酪農学園大学の先生です。大学周辺に設置されたカメラに映っていた熊の動画をご記憶の方も多はず。年々都市部に接近するヒグマの実態と今後の向き合い方とは？



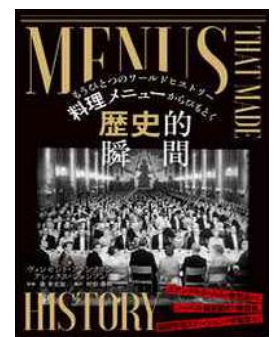
### 『料理メニューからひもとく歴史的瞬間』

もうひとつの世界史

V.フランクリン, A.ジョンソン／共著

（ガイアブックス）

検証に基づいた壮大な雑学。ネアンデルタール人の食事から国際宇宙ステーションの献立まで、歴史や文学の有名場面に登場するメニューの時代背景を探ります。



# 江別が登場する小説

昨年直木賞受賞で話題となった川越宗一さんの『熱源』では、樺太アイヌの人々をはじめ、幕末にそれぞれ異なる立場だった入植者たちが入り混じる明治期の江別の複雑な空気がフィクションならではの臨場感で描かれていました。じつは江別が登場する小説は他にも。歴史を下敷きにしたものから奇想天外なものまで、さまざまなジャンルから集めてみました。

## レンガのまち江別の歴史がここに

『のほり窯』久保 栄/著 (北方文芸刊行会)  
明治の煉瓦工場を題材とした未完の作品。著者の久保栄は作中で「仁志組」として描かれた野幌の久保組煉瓦の子息です。あの駅売り名物も登場。

## 明治末期、石狩川のほとりの川湊(かわみなと)

『零落』長田 幹彦/著 (『北海道文学全集』第2巻 (立風書房) ほか)に所収  
明治 45 年に発表された作品。街には料理屋や芝居小屋…。作中では「野寄(のよろ)」という名で描かれます。

## 世田谷から移住の戦後開拓者たちを描く

『泥炭層』筒井 雪路/著 (光陽出版社)  
角山にある「世田谷」という地域名は終戦直前の拓北農兵隊の入植に由来します。当時の関係者の目を通した、時代の記録としても貴重な物語です。

## 近未来の新天地として選ばれた架空の「野幌市」

『希望の国のエクソダス』村上 龍/著 (文芸春秋)  
2002 年の日本。80 万人の中学生たちが集団で不登校。ネットビジネスを成功させた彼らの集団移住先は…。



## 蹄鉄師、煉瓦職人、陶芸家…

『土に贖(あがな)う』河崎 秋子/著 (集英社)  
短編集。表題作を含む3編は江別を舞台としています。近代から現代へ移りゆく産業とそれをめぐる人々の姿が描かれます。昔を知る人には懐かしい情景も。

## 地元作家の細やかな描写を味わう

『砂上』桜木 紫乃/著 (角川書店)



実在の店が登場。同じ江別の風を感じながら、「書く」ということに真正面から向き合う作家が描く「小説家」の物語。

## ヤングアダルトミステリの舞台にも

『魔女は月曜日に嘘をつく』太田 紫織/著 (朝日新聞出版)



人の心と嘘を見抜く「魔女」が住むのは「フクロウの丘」という名の江別のハーブ園。江別の名物もさりげなく書き込まれています。

## 推理小説にホラー？ 意外な地元情報も！

『遡死(そし)水系』森村 誠一/著 (『雪国にて北海道・東北篇』(双葉社)に所収)  
犯人発覚のキッカケも石狩川ならではの？  
『死の色の封印』佐々木 譲/著 (徳間書店)  
なんと江別を舞台にしたサスペンスホラー。著者もあとがきでロケーション推し。